

精神医学

5

CLINICAL PSYCHIATRY

2019 Vol.61 No.5 通巻 No.725

特集

精神医学における主観と主体

特集にあたって	福田正人	497
身体医学における主体性と価値観	尾藤誠司	499
主体性の精神医学——精神病理学と生物学とが重なるところ	前田貴記	507
当事者の主体性を精神科医療が阻害しないためには	中西三春	517
パーソナルリカバリーの主観と主体性	金原明子・他	525
居場所の臨床としてのハウジングファースト	熊倉陽介	533
主体感の認知神経機構	今泉 修・他	541
統合失調症の基本的障害の抽出——主体性の表れとしての 眼球運動を用いて	小島卓也・他	551
精神疾患の主観的症状理解に向けた脳科学からの視点	柳下 祥	561
ブレインバンク——その構築と研究成果	丹羽真一	569
措置入院患者と医療観察法対象者の比較に基づく現状と 支援に関する検討	小池純子・他	583
統合失調症として長期入院していた特発性基底核石灰化症(Fahr 病)の 臨床病理学的特徴	伊藤 陽・他	595
極小/超低出生体重児の自閉症スペクトラム特性の傾向② ——3歳児健診における PARS 短縮版を用いた標準体重児群との比較	中島俊思・他	605
精神療法を学ぶためのカルテ記載の工夫	布施泰子	615

展望

研究と報告

資料

「精神医学」への手紙

お知らせ……………506, 515 / 今月の書籍……………617 / 次号予告……………618 / 投稿規定……………619
編集後記……………622